

阿波市 議会だより

第20号 [平成23年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150

平成二十三年第二回(六月)

阿波市議会定例会の概要

六月定例会は、六月六日から六月二十四日までの十九日間の会期で開かれました。開会日には、野崎市長から、東日本大震災に対する物的支援・人的支援の取り組み報告、また次世代育成支援行動計画の子育て支援事業として、ファミリーサポートセンターの開設、阿波市観光協会の発足、阿波市農業振興計画の施策推進、学校施設整備事業の耐震補強工事、新庁舎建設など重要課題について行政報告がありました。このあと、平成二十三年度一般会計補正予算などの議案について、概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、十一人が市政全般について考えを問ひ、新庁舎建設及び交流防災拠点施設、農業・観光などの産業振興、防災対策などについて論議されました。

六月十七日に総務、二十日に文教厚生、二十一日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案がいずれも可決・同意されました。また、「尖閣諸島をはじめ我が国の領土領域を守るための請願書」が採択されました。

み合わせた観光の開発また、まちづくりの視点からの観光の創造にも取り組んでいく。

問 学校で使用される教科書は、四年に一度見直されており、今年度において平成二十四年度から使用される中学校の教科書の選定作業が行われている。本年は教育基本法が改正されて初めての教科書選定であり、改正で盛り込まれた「国を愛する心」「道徳心と公共心の育成」「伝統文化の尊重」等の視点がより反映された教科書を選定すべきと考えるが。

答 文化省の検定を通じた教科書の中から、採択協議会や専門調査委員で充分吟味し、子どもたちのために役に立つ教科書を選定していききたい。

況を調査し、関係課と協議したい。

問 阿波市と吉野川市との間に五つの橋がまたがっている。瀬詰大橋が二番目に古く、この橋だけが歩道・自転車道がない。

答 県の回答によると、構造的に不可能である。下部構造も含めた橋梁全体の大幅な改造が必要になる。県の整備局と十分協議を重ねていききたい。

代表質問

岩本 雅雄 議員
(阿波みらい)



設とする整備を図っていききたい。具体的には、建物の構造体、建築非構造部材、建築設備全てにおいて安全基準の高い耐震設計を採用するとともに、停電に備えた自家発電装置の整備、断水時の飲料水、トイレの洗浄水等を確保すべく水槽の設置、災害時の支援物資を受け入れる集積場所や救助用資機材等を収納した備蓄倉庫など、災害時に活動できる防災拠点としての機能を確保したいと考えている。

出口 治男 議員 (阿波清風会)

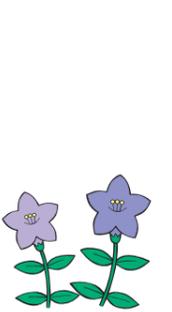


東日本大震災後、計画どおり大型事業推進したならば将来維持が危惧される。今後の特別普通交付税の見直しについて。

答 徳島県の影響は四十八億円減と予想される。阿波市に於いても、特別交付税の削減が見込まれる。

市民交流施設は防災拠点の本部となる防災会館とすべきではないか。

答 阿波市全体の防災拠点本部としての機能もあわせ持つた施設とする整備を図っていききたい。



阿波市特別職指定条例制定について、厳しい本市の財政状況の中で新たな特別職を置かずとも副市長、職員で重要施策の遂行は出来ると思うが市長の考えは。

答 合併特例債を有効に活用するためにも事業推進が最も重要な時期であり、重要課題の政策調整を進めるため特別職である政策監に、その一部を担ってもらい、阿波市の活性化を行政改革と併せて図っていく。



阿波市観光協会が発足されたが、阿波市は観光資源を生かすと共に、まちづくり、地域おこしの視点から体験、交流、文化の発信等により、創っていく観光を取り組む必要がある。例えば、庁舎に併設し建設される市民交流拠点施設でのイベントの開催、農業を生かしたまちおこし等への取り組みによる観光の創造また統合新築される給食センターに食育の場を持たす等既存観光資源の活用と合わせ、総合的観光振興に取り組むべきと考える。

答 発足された観光協会を中心に柔軟な取り組みを考えていききたい。観光振興にあたっては、既存観光資源の有効活用と市内で実施されているイベントを組み合わせたい。

阿波市内の拡声器の設置状況について、

答 阿波市内の拡声器の設置状況について、

阿波市自主防災組織の現状と阿波市防災計画をもとにした防災対策の進め方は。

答 阿波市防災計画は、平成十七年七月に作成され、一部修正を加えながら現在に至る。今回の東日本大震災を踏まえ、結成率七十一・二%の自主防災組織の今後益々の結成推進をはかり、また安心、安全な生活を守るためにも、自主防災組織の強化、住民防災訓練の徹底、避難路、避難場所の整備等を盛り込んだ阿波市防災対策行動計画の点検、見直しを行っていく。

木村 松雄 議員 (志政クラブ)



新庁舎、交流防災拠点施設について合併特例債期限内建設に向かつての進捗と建設に伴い市民の負担増にならないか。また、交流防災拠点施設建設は出来るだけローコストにと考えるが市長の考えは。

答 本年、八月には設計業務の契約締結を行い二十四年度末には設計を完了したい。二十五年には建設工事に着手し二十六年の完成を目指す。完成後も市民サービスの低下のないよう、市民に身近な窓口業務は支所機能として存続する。合併特例債は、合併市町村に係る財政支援措置の中でも普通交付税の合併算定替えと並んで大きなメリツトのある財源であり、将来世代に負担を残す計画でない。防災拠点については、設計業者と緻密な協議を行いローコストになるよう努めてまいりたい。

一般質問

正木 文男 議員
(阿波清風会)



合併特例債を有効に活用するためにも事業推進が最も重要な時期であり、重要課題の政策調整を進めるため特別職である政策監に、その一部を担ってもらい、阿波市の活性化を行政改革と併せて図っていく。

問 土柱休養村温泉の改築後の運営方法をどのように考えているか。

答 来年三月に改修工事を完了し、その後は指定管理者により運営を行い、指定管理料は考えていない。

阿波市観光協会が発足されたが、阿波市は観光資源を生かすと共に、まちづくり、地域おこしの視点から体験、交流、文化の発信等により、創っていく観光を取り組む必要がある。例えば、庁舎に併設し建設される市民交流拠点施設でのイベントの開催、農業を生かしたまちおこし等への取り組みによる観光の創造また統合新築される給食センターに食育の場を持たす等既存観光資源の活用と合わせ、総合的観光振興に取り組むべきと考える。

答 発足された観光協会を中心に柔軟な取り組みを考えていききたい。観光振興にあたっては、既存観光資源の有効活用と市内で実施されているイベントを組み合わせたい。

藤川 豊治 議員 (阿波みらい)



新庁舎は防災拠点施設としての機能を添えた施設にし、防災センターを別につくるのではなく一つの建物に防災機能庁舎を兼ねた施設を建設し、無駄を省いてはどうか。また、太陽光発電、天然水を利用した自然エネルギーを取り入れるべきではないか。

答 すべてにおいて耐震安全性が最も高い分類で設計を行ってまいりたい。市民の安全・安心の要として、災害時の指揮、災害復旧対策の拠点施設としてその役割を担うべく建物として整備したい。庁舎建設と防災拠点施設は一つの建物ではなく、別々に行いたい。省エネルギー化を実現した庁舎整備を目指したい。

阿波市自主防災組織の現状と阿波市防災計画をもとにした防災対策の進め方は。

答 阿波市防災計画は、平成十七年七月に作成され、一部修正を加えながら現在に至る。今回の東日本大震災を踏まえ、結成率七十一・二%の自主防災組織の今後益々の結成推進をはかり、また安心、安全な生活を守るためにも、自主防災組織の強化、住民防災訓練の徹底、避難路、避難場所の整備等を盛り込んだ阿波市防災対策行動計画の点検、見直しを行っていく。

森本 節弘 議員 (志政クラブ)



江澤 信明 議員
(阿波清風会)



榎原 伸 議員
(阿波清風会)



松永 渉 議員
(阿波清風会)



問 森本氏が副市長に就任して阿波市の印象と職務への抱負は
答 緑豊かで人情あふれるまちである。これまでの行政経験を生かし、野崎市長のもと誠心誠意務めてまいりたい。

問 給食センター建設について事業認定の進捗状況と今後の工程表は
答 十一月中に事業認定を取得できる予定である。二十三年度に基本計画、二十四年度に実施計画、二十五年度に建設工事、二十六年年度に工事の竣工予定である。

問 子宮頸がんのワクチン接種の助成制度が始まり、阿波市の対象者数と、接種人数は
答 子宮頸がんのワクチン接種は三回で、対象者は中学一年から高校一年女子で七三〇人です。接種者数は四二五人で五八・二％です。昨年度ワクチン不足により接種できなかった高校二年生が九月三十日まで、一回目の接種を受けた者が対象です。

問 災害時の幹線道路の確保は
答 市内建設業者と災害協定を締結し、消防、警察、県と密に連携する。

問 飲料水は自販機内、また有償により配達を受けられる協定を結んでおり、乾パンは二八八缶を確保している。市単独で食料の確保が困難な場合は、県に対し供給を要する。さらに市民の皆様に三日間の食材備蓄を呼びかけている。

問 学校と地域が一体となり避難訓練をしたらどうか
答 阿波市地域防災計画の中に学校が避難所になる場合が多く、色々の災害を想定しマニュアルの見直しをしている。

問 平成二十二年度に阿波市農業振興計画が策定され農業振興に向けた取り組みの中で市単独補助事業への申し込み状況と農業産出目標額一八〇億円の根拠
答 魅力的な農業の確立を図り、将来の目指すべき姿とそれを実現するための施策推進をうたい、阿波市農業振興事業費として二四〇〇万円余りの予算を計上し、今現在二〇件の申し込みで補助金五〇〇三万円の状況である。目標額一八〇億円の設定は概要でお米二億円、畜産七億円、園芸八億三千万円、その他五億円で目標年度は二十八年までとしている。

問 国民健康保険税の収納率及びジェネリック医薬品差額通知サービスの実施時期について
答 収納率と市税等収納率向上対策本部が一体となり収納率向上に取り組み、二十二年度は、九三・三三％、七億千八百四十四万二千五百七十九円で調整交付金ペナルティ対象の九二％を超える事ができた。ジェネリック医薬品通知サービスは、医療費抑制に有効な取り組みであり、国保総合システムの導入後、関係機関とも調整を図りできるだけ早期に実施していきたい。

問 リスク管理及び個人情報について
答 コンプライアンスリスク対策として阿波市職員倫理条例を基本とし、内容に応じて庁内で対策本部及び会議を設置して対応しており、内部統制の構築に取り組み。個人情報保護条例及び保護規定により取扱の徹底をはかり、市の取り扱う情報にについては阿波市情報セキュリティポリシーで定めた物理的・技術的・人的対策を講じている。

問 地域公共交通について
答 阿波市は、鉄道がなく多くのバス路線も廃止され、市民が気軽に公共交通を利用することが困難な状況になっている。地域公共交通の維持や空白地区の解消等、生活の足となる基盤整備を目指し、平成二十一年九月に阿波市地域公共交通会議を設置し、アンケート調査を行い平成二十三年三月に阿波市地域公共交通連携計画案を作成した。その中で、公共交通を市民が必要性を認識し利用していく意識の醸成と新たな公共交通体系の構築の二つの基本方針を掲げている。実施計画については、前期五年間は、イベント等を通じて公共交通意識の醸成を図るとしているが、再度検討していく。

問 防災対策について
答 災害時に負傷した人に応急処置ができる人材の育成については、阿波市職員二〇一名が、普通救命講習を受講している。また消防団についても約半数ぐらい受講している。自主防災組織においても、応急処置を防災訓練に取り入れている。

問 人口減をくい止めるための産業振興の取り組みについて
答 農業振興策として、強い農業づくり交付金事業、中山間地域等直接支払事業、戸別所得補償制度の推進等に取り組んでいる。

問 保育所の民営化、正規職員臨時職員の待遇のちがいに
答 吉野川市では、山川東保育所等に指定管理が導入され、開所時間の延長や保育サービスの充実が図られている。本市においても今後指定管理を導入する事により、保育サービスの向上が期待できる。

問 要望の土地総面積が六八〇〇平米であり、現在ゴルフ場約半分使用し残り三〇〇〇平米がパークゴルフ場として使用可能と思われる。さらに、設置場所やニーズ等の現状を調査研究してまいりたい。

問 学校や公共施設の耐震化及び木造住宅の耐震化の促進について
答 学校施設の耐震化については、市内学校施設六一施設のうち耐震化の必要な施設は四二棟で、順番に工事を進め、二十三年度には七七％達成、二十六年

度には一〇〇％完了する。公共施設については四割が五十六年以前に建てられた旧耐震基準の施設であり建物によっては現在の耐震基準を満たしていない。木造住宅については、耐震改修の補助、介護保険によるバリアフリー化、リフォーム改修に関する太陽光発電システム補助制度がある。

問 生活道、道路橋の修繕、長寿命化の促進について
答 長寿命化修繕計画の策定により生活道のネットワークの安全性、信頼性の確保、橋梁の耐用年数の延長、維持管理コストの削減を目的として橋梁の長寿命化を促進していく。

問 避難箇所と避難道路の整備と周知徹底について
答 阿波市地域防災計画で指定

している避難場所等は広報あわ、HP等で公開している。避難路については家族で防災について話し合うと共に、避難の方法や経路の想定、また訓練が非常に重要であると周知していきたい。

問 東日本大震災で発生した廃棄物の中央広域環境施設組合での受け入れ体制について
答 国から受け入れ要請があれば搬送方法・量などを確認し、周辺住民の方へ説明会を実施した上で、協力していく。また放射性物質等に汚染されたものは処理しない。

問 阿波市地域防災計画で指定

活動状況報告

- 委員会等の開催状況
5月24日 公営施設(事業)民営化特別委員会
5月30日 議会運営委員会
6月6日 全員協議会
6月17日 総務常任委員会
6月20日 文教厚生常任委員会
6月21日 産業建設常任委員会
6月24日 全員協議会
7月19日 庁舎建設特別委員会
8月9日 議会広報特別委員会
8月31日 議会運営委員会

平成23年第2回(6月)阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
報告第1号	平成22年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	-
報告第2号	平成22年度阿波市国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書について	-
報告第3号	平成22年度阿波市水道事業会計繰越明許費繰越計算書について	-
議案第72号	平成23年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第73号	平成23年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第74号	平成23年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第75号	阿波市特別職指定条例の制定について	原案可決
議案第76号	阿波市税条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	阿波市体育施設条例の一部改正について	原案可決
議案第78号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第79号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第80号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第81号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第82号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第84号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
請願第1号	尖閣諸島をはじめ我が国の領土領域を守るための請願書	採択
発議第1号	尖閣諸島をはじめ我が国の領土領域を守るための意見書の提出について	原案可決

阿波市国民健康保険の特定健康診査の受診について(お願い)
阿波市では医療費の抑制策として、特定健康診査・集団検診・人間ドックの受診率の向上に努めています。
市議会としましては全力で取り組む所存ですので、年に一度は特定健康診査・集団検診・人間ドックを積極的に受診いただき、自分の健康チェックを行うようお願いいたします。

議会だより 編集雑感
市民の皆様、残暑御見舞い申し上げます。三月十一日の東日本大地震発生より半年の月日が流れようとする中、全国では日本の希望を託すように、黄金色の米の刈り取りが行われています。米の出来具合も全国的に豊作のようです。改めて自然の猛威と驚異を痛感させられました。今定例会においても、震災に対する支援、耐震補強工事も含めた防災対策、将来に向けての新庁舎建設及び交流防災拠点施設、産業振興などについて、激しい議論がなされ、意見が交わされました。国の東日本大震災に対する復旧、復興対策議論が遅々として進まない状況に、腹立たしい思いを持ちながらも、阿波市議会一丸となって、今回の震災を教訓に、人口四万一〇〇〇人の安全・安心を目指す阿波市まちづくりを実行することを、心に誓ったところであります。(森本節弘)